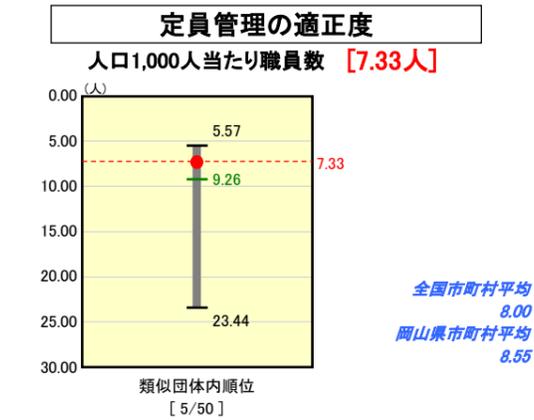
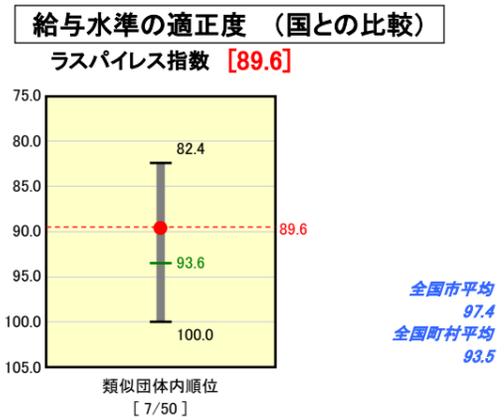
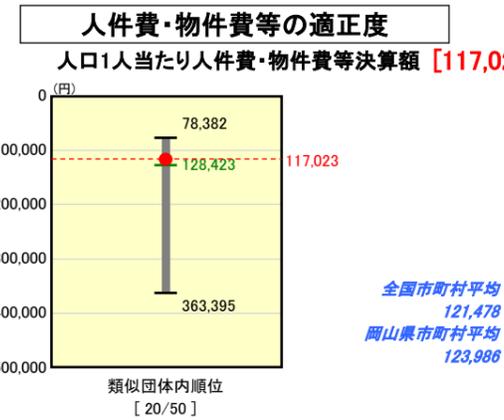
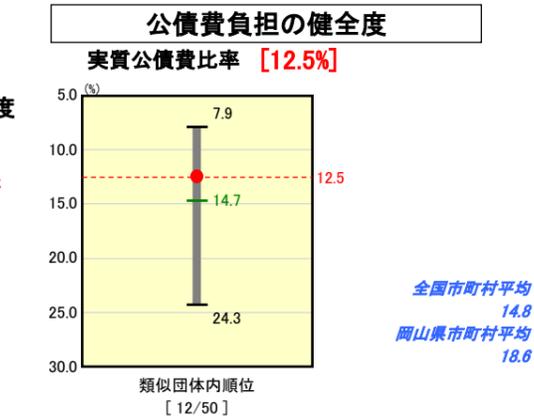
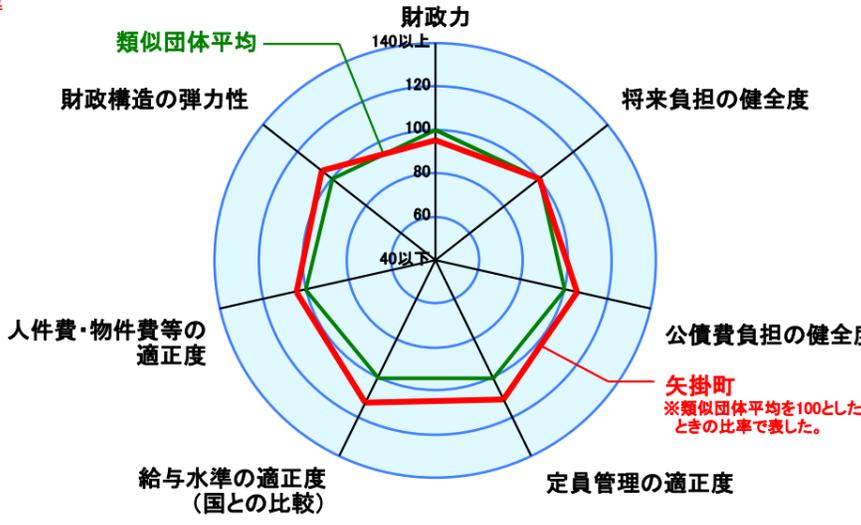
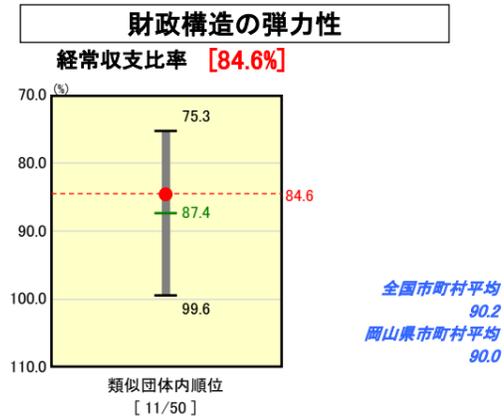
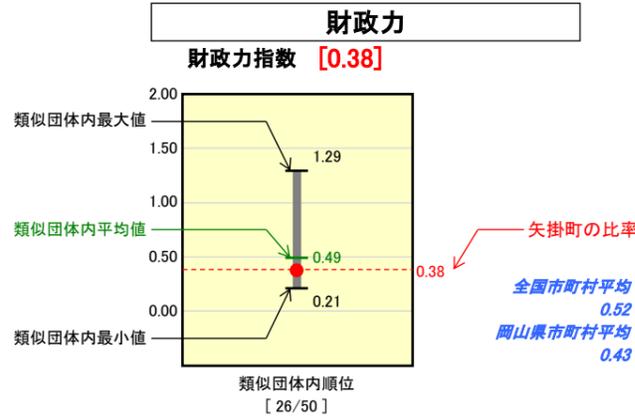


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 岡山県 矢掛町

人口	16,225 人(H18.3.31現在)
面積	90.62 km <sup>2</sup>
歳入総額	6,194,136 千円
歳出総額	5,862,160 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**・財政力指数**  
財政力指数とは財政需要に対する自主財源の割合を示す指数です。矢掛町では0.38となっており、類似団体と比較しても地方交付税に依存した財政運営となっています。

**・経常収支比率**  
経常収支比率とは財政の弾力性(ゆとり)を見るための指標です。用途を制限されない経常的な収入(地方税、普通交付税等の毎年収入される性質の収入。)に対する経常的な支出(人件費、公債費、扶助費等の毎年経常的に支出されるもの。)の割合が低いほど、財政にゆとりがあり、さまざまな状況の変化に柔軟に対応できることを示します。矢掛町では84.6%で類似団体平均より数値は低いですが、昨年より3.6ポイント上昇しています。

**・人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
人口1人当たりの人件費・物件費については、類似団体の平均とほぼ同額ですが、長期的視点に立った財政運営においては人件費・物件費の縮減が常に行財政改革の主要課題であるため、引き続き縮減を図る必要があります。

**・ラスパイレズ指数**  
ラスパイレズ指数とは、地方公務員と国家公務員の給与水準を、国家公務員の職員構成を基準として、職種ごとに学歴別、経験年数別に平均給与月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の矢掛町の給与水準を指数で示したものです。

です。矢掛町は全国町村平均、類似団体と比較しても給与水準が低めであることを示しています。

**・人口1人当たりの地方債現在高**  
矢掛町における人口1人当たり地方債残高は類似団体の中では概ね平均的なところですが、今後の少子高齢化による人口の減少や下水道事業推進により、人口1人当たりの地方債残高の上昇が考えられるため、計画的な財政運営により地方債の適正な発行を行う必要があります。

**・実質公債費比率**  
実質公債費比率とは、公債費による財政負担の程度を客観的に示す指標として、実質的な公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合を表すもので、矢掛町においては12.5%となっています。類似団体の平均と比較しても2.2ポイント低い値となっており、起債借入については協議団体(18%以上は許可団体)となっています。

**・人口1,000人当たりの職員数**  
矢掛町の場合、類似団体より約1.93人少なくなっていますが、今後とも長期的視点に立った財政運営においては人件費の縮減が常に行財政改革の主要課題であるため、新規採用者数の抑制による人員削減、配置人員の縮減、非常勤職員等のスポット活用、OA機器の効率的活用、業務の民間委託と当該部門の縮小などにより人件費の削減を図っていきます。